編集後記

以前，ある患者さんのお母さんに，「先生，あわびを食べると目の綺麗な子が生まれるって本当ですか？」と聞かれたことがあります．わりとよく知られた言い伝えだそうですが，もちろん迷信だと思います．強いて理屈をつけると，あわびが食べられるような裕福な家庭なら，お嫁さんも美人であることが多いかもしれませんから，その子どもは目がぱっちりの可愛い子が多くなるのかもしれません．いや，偏見ですね．近年エピジェネティクスの研究が盛んですが，いくつかの重要な遺伝子 DNA のメチル化が胎内で起きてしまうと，将来のいろいろな疾病や体質に影響することが明らかになってきています．メチル化された遺伝子は翻訳されなくなるわけですが，胎内環境によって不要なメチル化が生じる可能性があり，しかも一度生じると一生回復しないこともあるといいます．あわびの成分からは「目の綺麗な子」につながる根拠は見出せませんが，ひょっとするとエピジェネティクスを介して関係があったりするのかもしれません．

今月号の特集は「妊婦の健康状態・生活習慣が胎児に及ぼす影響」です．妊娠中の感染症，妊婦の飲酒や喫煙，薬物の影響，慢性腎疾患や慢性心疾患をもつ妊婦における胎児への影響について特集されています．雑誌やネットを通じて情報が氾濫する現代ですが，妊娠，出産，子育てについては，とくに情報が氾濫していて玉石混交です．正しい対処とアドバイスが必要です．

「綜説」では，最近，生物学的製剤の開発が進んでいる FGF23 関連低リン血症性くる病についての解説と，2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けても懸念されている概念「マスギャザリング」と感染症の関係についての解説を掲載しています．「診療」では，最近ニュースにもなった食物アレルギーに対する食物経口免疫療法による重篤なアレルギー症状について解説いただいています．経口免疫療法はすでに広く行われるようになってきていますが，やはり細心の注意が必要であることは言うまでもありません．「症例」では，若年性脊椎関節炎，大腸憩室炎，白血病中枢神経再発に伴う Cushing 症候群，硬膜外麻酔による椎体外路症状と，興味深い症例が報告され，「目で見る小児科」では化膿性閉鎖筋炎が取り上げられています．

雑誌やネットをよく見ている妊婦さんたちは結構多くの情報をもっています．虚実ないまぜかもしれませんが，なめてかかって鋭い質問にたじたじとなってしまうことなどないようにしたいものです．

（伊藤　保彦）

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC 順）

小児科

第 59 巻第 13 号　　12 月号
2018 年 12 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）
定価（本体 2,600 円＋税）

年間購読料金
定価（本体 41,000 円＋税）
〔年間 13 冊（増刊号，増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所　金原出版株式会社
発行者　福村直樹
〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
Fax 03(3813)0288
http://www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座　00130-1-191269
印刷所　三報社印刷株式会社　Tel 03(3637)0005
広告申込先　福田商店　Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権，翻訳・翻案権，上映権，譲渡権，公衆送信権（送信可能化権を含む），貸与権，二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は，金原出版株式会社が保有します．
・JCOPY ＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています．複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088，FAX：03-5244-5089，E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．

2026/10/12 21:23:01